

災害に備え市と事業所が連携 物資供給・支援活動等に関する協定

11月28日、市はパンメーカーや老人ホームなど市内外の14事業所と災害の際に食糧や避難所を確保するための「物資供給・支援活動などに関する協定」を結びました。

これは旧不知火町で12人が犠牲となった平成11年の高潮災害などの教訓を生かそうと市が発案したもので、物資供給・防災活動の協力・応急対策の応援・お年寄りのための福祉避難所・し尿や浄化槽の収集運搬などを含みます。具体的には災害で市が市民に避難勧告や避難指示を出した場合、飲料水やパン・米などの供給や介護が必要な高齢者の避難所の提供などを事業所が担います。

調印式では、各事業所の代表が阿曾田清市長と協定書に調印。阿曾田清市長は「協力いただいた事業所の皆さんに感謝します。今後、災害に強いまちづくりを進めていきます」とあいさつしました。



市民が安心して暮らせるまちづくり

貴重な文化財を守る 小田良古墳の除草作業



国指定史跡
小田良古墳



地権者や区役員らで行われた除草作業

11月17日、三角町中村にある国指定史跡「小田良古墳」の除草作業が、地元小田良地区の方々によって行われました。

この古墳は、地元で古くから「チンカンサン」と呼ばれて親しまれており、内部に円文・靱・盾の装飾文様があり、多量の玉類・銅製鈴・人骨などが出土しています。現地は保護のため埋め戻されており、複製品が熊本県立装飾古墳館に展示されています。

昨年、市と熊本県立大学との包括協定に基づき、この小田良古墳周辺の環境調査を始めました。この調査結果を基に、古墳の重要性を認識し、多くの方が訪れる場所になるよう保存・活用を進めていきます。

走った！ 転んだ！ 靴脱げた！ HAYASHI CUP 2007 第17回小川町U9サッカー大会

11月24日、第17回小川町U9サッカー大会が、小川町の観音山総合運動公園グラウンドで開催されました。

大会には宇城管内56チームが参加。天候にも恵まれ絶好のスポーツ日和の中、選手や保護者約1,200人が集い、家族で秋の一日をサッカーやゲーム大会で楽しく過ごしました。

各年代別の優勝チームは次のとおりです。

- ◆年中の部 河江 FC ゲッチュウ
- ◆年長の部 大空保育園 U-6
- ◆1年生の部 河江 FC U-7
- ◆2年生の部 とよのフランス
- ◆3年生の部 河江 FC パルサ
- ◆ママさんの部 小川 JSC セレブ



懸命にボールを追う園児たち

環境問題・環境保護を考えよう 宇城市環境フォーラム

11月25日、第3回「宇城市環境フォーラム」がウイングまつばせであり、環境保全への取り組みなどの報告がありました。市民ら約700人が参加。

市内各地で地域清掃や緑化活動、河川や里山の保全活動などに取り組む12団体・個人に表彰があり、劇団きららによる環境ミュージカルコトもありました。

篠原亮太・県立大教授がコーディネーターを務めたパネルディスカッションでは、「うきうき環境志民活動報告」をテーマにコンテスト入賞者5人と阿曾田清市長が活動報告や意見交換を行いました。

パネリストたちは、それぞれの活動を報告しながら「ゴミ拾いなど身近な問題から取り組もう」「マイバックやマイはし運動を広げよう」などの意見を述べ、最後に篠原教授が「環境を守るため市民と行政が連携して取り組んでほしい」とまとめました。



表彰を受ける団体の代表

総合的な学習の時間 豊野小で職場体験



家畜牛に興味津々！

11月14日～16日の3日間、豊野小学校の4年生が、町内の病院や保育園、農家など7カ所の仕事場で、職場体験学習をしました。

豊野小学校では「総合的な学習の時間」を利用して、「レッツチャレンジ！職場体験」を計画し、社会に出るといふ疑似体験で自分の住む町のことを深く知り、働くとはどういうことなのかを学び、社会の一員としての役割を子どもたち自身で考えることを目的に行っています。

子どもたちは、5～6人ごとの班に分かれ体験場所（仕事場）に赴き、職場の担当者や従業員などに仕事の仕方を習い、慣れない手つきながらも一生懸命頑張っていました。また、畜産農家では間近で見る牛に目を輝かせて世話をしたり、老人ホームなどでは、ダンスや歌を入居者に披露したりする姿が見られました。

雇用拡大を図る 特産品で新ビジネス、講座で人材育成

市では、特産品のサトウキビやブドウで、黒糖スピリッツ（三角）やワイン（不知火）、リキュール（松橋）づくりなど新たなビジネスの中核を担う人材を育成し、雇用拡大にもつなげようという取り組みを行っています。総務省の「地域再生マネージャー事業」と厚生労働省の「地域雇用創造推進事業」。

「地域再生マネージャー事業」では、生産者や企業、大学などが連携して旧5町ごとに特産品づくりを推進。「地域雇用創造推進事業」では、こうした特産品を市内の物産館と連携して販売、企業の新規事業支援なども進め、雇用と就職の拡大に取り組めます。

11月15日、市民対象の無料パソコン基礎・電子会計事務講座が始まり、参加した40人が初回の講座に臨みました。



今後の講座の受講者を募集しています。

宇城市雇用促進協議会（雇用対策課内） ☎ 32-1235